

試験報告書

依頼者 日本抗菌テクノ株式会社

Five Hertz (Xiamen) Medical Supplies Co., Ltd

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 デンタル専用木曽檜エキス配合歯磨きジェル

表題 殺菌効果試験

2018 年(平成 30 年)05 月 28 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

日本抗菌テクノ株式会社

Five Hertz (Xiamen) Medical Supplies Co., Ltd

2 検体

デンタル専用木曽檜エキス配合歯磨きジェル

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試料」という。), 所定時間後に試料中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試料をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試料の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/g)		
		開始時	1分後	3分後
ジンジバリス菌	検 体	—	<100	<100
	対 照	2.0×10^5	3.2×10^5	1.0×10^5

<100 : 検出せず

対照 : 生理食塩水

保存温度 : 室温

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	<i>Porphyromonas gingivalis</i> JCM 8525 (ジンジバリス菌)	
		前培養：5 %馬脱纖維血液加Brucella Agar (BBL), 35 °C ± 1 °C, 4~7日間嫌気培養 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試料	検体10 gに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	1分, 3分(室温)		
対照	生理食塩水		
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈		
生菌数測定	5 %馬脱纖維血液加Brucella Agar, 平板塗抹培養法	35 °C ± 1 °C, 5~7日間嫌気培養	

以 上